
俺様がまかりとおる

三時のおやつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺様がまかりとおる

【コード】

N4645P

【作者名】

三時のおやつ

【あらすじ】

異世界に召喚された少年が、魔王を倒すため？旅をするお話。

プロローグ

気がつくと俺は、此処にいた。

一体ここは、何処なんだ。

かれこれ数時間は経つのだろうか、僕は濃霧に包まれた場所に佇んでいる。

この場所には、足場もなく、何とも言えない浮遊感が、重力になれた体に馴染まず気持ち悪さを感じる。

そして、この現実味のないこの空間は、俺の知る常識を逸脱している。それは死後の世界かもしれないなんて馬鹿げた説明を信じてしまいそうなくらいに。

だから、さつきから俺は、生きてるのか死んでるのか、について自問自答している。そして、答えはまだ見つからない。

結局、結論の得ない不毛な議論に飽きてしまい、思考することを放棄し、体を包み込む浮遊感に身を任せていた。

「ぐはあっ」

突然、鈍器で頭部を殴られた痛みが襲い、反射的に呻き声が漏れる。その痛みは、思考を放棄した俺の頭を覚醒させるには十分すぎるほどだった。そして覚醒した頭に浮かびあがった感情は、意外にも喜びだった。頭部に走った痛みを苦痛と感じるよりも、何もすることの出来ないこの状況に変化を与えてくれるであろうこの痛いという感覚に出会えたことに喜びを感じたからだ。

「ちよつと待て、お前は、誰だ？」

痛みに苦痛を感じながらも、身に降りかかった千載一遇の機会を逃すまいとこの痛みを与えてくれた誰かを呼び止めるため、言葉を絞り出す。

『わかりません。』

感情のこもらない無機質な声が聞こえる。

質問の答えには、満足することから遠かったが、この時には答えの内容なんてどうでも良かった。ただ答えが帰って来たと言う事実が、俺以外の何かが此処に存在するという確信に結び付き、それに加えその何かとの対話が可能であるということは、十分に満足を与えてくれた。

頭部に感じる頭痛に顔を歪めながらも、現状を打破するための情報を引き出すため、そこにある何かに対して尋ねる質問を考える。

「ここは何処だ？」

『わかりません。』

その答えは、胸のあたりを酷くざわつかせた。じゃあ、お前は一体何者なんだ？という疑問に思考が至ると共に、言葉以外からも情報を得ようと、頭痛により閉じてしまっている目を少しだけ見開き、視界を上下左右に展開し、頭部を振り動かし前後を確認する。しかし、そこには、何もなかった。ただ、今までと変わらない濃霧が広がるだけであった。視覚による情報が得られなかったことから、次に「お前は、何処にいるんだ？」と何かに尋ねようとした時、頭部を襲う痛みが増した。

「あぐっ」

頭痛が頭の中を支配し、強制的に全ての思考を中止させた。
足元に冷たい感触を感じる。
湿り気のある匂いを感じる。
知らない誰かの声を感じる。

先ほどまで感じていた浮遊感も消え、下に引つ張られる重力を感じる。

「ああっ」

声を発し、思考を停止させる痛みを気合いで押しつける。

「はあっー、はあっー」

徐々に収まっていく頭痛から解放され、先ほどまで浅くなっていた呼吸を整える。そして、苦痛により閉じた視界を少しずつ解放していく。そこからは、白い濃霧ではなく、暗い灰色の石が積み重なった壁が見えた。そして、もっと情報を得ようと周囲を見回す。

そこには、石畳にロープをまとった人達が伏していた。そして、その光景は、僕に違和感を与えるよりもあの空間から抜け出したことによる安息を与える。そして、その安息に心を許すように、床に伏している彼らと同じ膝を折り、床に伏した。

プロローグ（後書き）

プロローグのみの投稿です。
更新は、もうちょっとしてから始めます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4645p/>

俺様がまかりとおる

2010年12月13日10時50分発行